2023年11月17日

新型コロナワクチン接種後の 副反応への対応方法

ファイザー社、モデルナ社、武田社(ノババックス)のワクチンについて



症状が出た時の対応

● 新型コロナワクチンは、非常に高い効果があります。一方で、接種後に体内で免疫ができる過程で、 接種部位の痛み、発熱、倦怠感、頭痛、筋肉や関節の痛み、寒気、下痢等の症状が現れることがあります。

【発熱や痛み】

- 市販の解熱鎮痛薬(アセトアミノフェンや非ステロイド性抗炎症薬 「イブプロフェンやロキソプロフェン等」)で対応いただけます。
- 発熱時には、水分を十分に摂取することをお勧めします。
- 5歳から11歳の小児、生後6か月から4歳の乳幼児に関しても同様です。
- 妊娠・授乳中の方や胃潰瘍・腎機能障害・喘息などの持病のある方は、 薬剤師や医師にご相談ください。

調査対象が使用した薬剤 -

アセトアミノフェン アスピリン ロキソプロフェン イブプロフェン ジクロフェナク



【かゆみや発赤】

● かゆい場合は冷やしたり、抗ヒスタミン剤やステロイドの外用薬 (軟膏等)を塗ると、 症状が軽くなります。こうした成分は、市販の虫刺されの薬などにも含まれています。 ※症状が重い場合、長引く場合は、医療機関等への受診や相談をご検討ください。



副反応に関するご相談

● ワクチン接種後、副反応を疑う症状で医療機関を受診したい場合、 まずは身近な医療機関や、ご自身が接種を受けた医療機関で診ていただく ことになります。各都道府県にも、副反応に関する相談窓口等の設置を お願いしていますので、ご相談の際は、お住まいの都道府県のワクチンに 関する窓口にお問合せください。



接種後の生活

● ワクチンの効果は高いですが、100%ではありません。ウイルスの変異による 影響もありえます。接種後も、効果的な感染予防対策の継続をお願いいたします。



接種後に起こる可能性のある症状(副反応)

● 厚生労働省では、国内数万人を対象に、新型コロナワクチン接種後の 健康状況調査を実施しており、その調査結果から、症状の経過等の 概要をご報告します。次ページをご参照ください。





接種後の症状の経過・頻度

いずれの症状も、大部分は接種の翌日をピークに発現し、数日以内に回復しました。



(※)症状の経過等については、健康状況調査 (新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)の中間報告を基に記述しており、ファイザー社、モデルナ社ともに令和5年10月27日報告分です。なお令和5年秋開始接種で使用されるワクチンの安全性も、これまでのワクチンと同様、特段の懸念は認められていません。詳しい情報は厚生労働省ホームページをご参照ください。

接種後の症状の経過・頻度

ファイザー社の5歳から11歳用ワクチンについても、主な副反応として、 注射した部分の痛み、頭痛、疲労、発熱等があります。

(5歳~11歳用)追加接種後ファイザー社オミクロン株対応





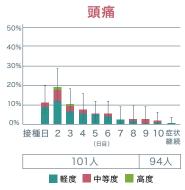


ファイザー社オミクロン株対応2価ワクチン5歳~11歳用は少数例のためエラーバーは省略 ※人数は調査対象者の数

追加接種(4回目以降)後 (ノババックス) 武田社のワクチン







※エラーバーは母比率の95%信頼区間 ※人数は調査対象者の数

(※)症状の経過等については、健康状況調査 (新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業)の中間報告を基に記述しており、ファイザー社(5歳~11歳用)、武田社(ノババックス)ともに令和5年10月27日報告分です。なお令和5年秋開始接種で使用されるワクチンの安全性も、これまでのワクチンと同様、特段の懸念は認められていません。詳しい情報は厚生労働省ホームページをご参照ください。





健康状況調査

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_kenkoujoukyoutyousa_xbb.html





副反応への対応方法(動画)

https://www.youtube.com/watch?v=win66w5Z l8k



